

豊門公園 案内図



〈国登録有形文化財〉

噴水泉

建設年：昭和5年

半径5メートルの半円形平面をしたコンクリート造りの水槽の円弧を、西洋館と向かい合わせ、直線部分両端には、モルタル洗出し仕上げで石積風に目地を入れた角柱を配す。豊門会館と西洋館の各正面軸線のほぼ交点に位置し、豊門公園空間構成上の要となっている。



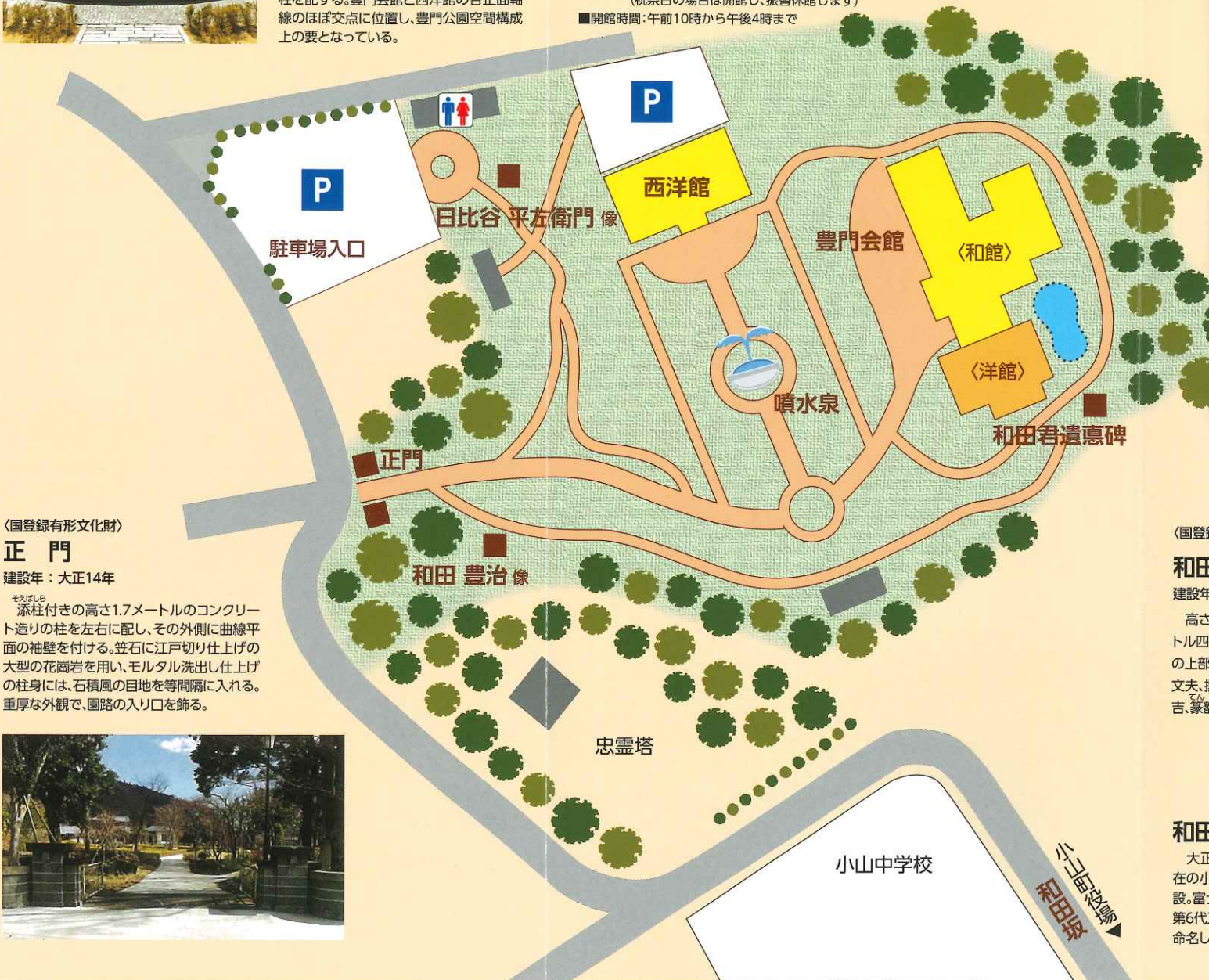
■休館日：火、水曜日、年末年始
(祝祭日の場合は開館し、振替休館します)
■開館時間：午前10時から午後4時まで

〈国登録有形文化財〉

西洋館(旧豊門青年学校)

建設年：昭和5年 外観復原：令和2年

木造2階建て、スレート葺で、寄棟造。外装は下見板張とし、欄間付き縦長窓を四周に配す。正面中央に設けられた車寄せ付き塔屋を中心として左右対称になるのを避けるため、2階西側にペランダを設けて壁を後退させ、小壁を廻らして外観を引き締める等、変化に富んだ瀟洒な洋風建築である。



〈国登録有形文化財〉

正門

建設年：大正14年

添柱付きの高さ1.7メートルのコンクリート造りの柱を左右に配し、その外側に曲線平面の袖壁を付ける。笠石に江戸切り仕上げの大型の花崗岩を用い、モルタル洗出し仕上げの柱身には、石積風の目地を等間隔に入れる。重厚な外観で、園路の入り口を飾る。



豊門会館(旧・和田豊治邸)

建設年：明治39年 移築：大正14年 改修：平成31年

〈国登録有形文化財〉

和館

木造2階建て、瓦葺、入母屋造2階部分の西側に、平屋を南北に構える。入母屋破風を持つ玄関を入ると、正面に渋沢栄一が、書きおろした「豊門会館」の額が掲げられている。

〈国登録有形文化財〉

洋館

和館南側に接続して位置する。平屋建て、スレート葺、寄棟造。外装はモルタル塗りで、鏡戸付き縦長窓を正面に付け、窓の上下に木板を帯状に廻して外観を引き締めている。大正期以降、都市部で流行した洋館を和館に付属させる住宅形式の初期の例である。

HOMON HALL HISTORY

- 1906 Toyoji Wada, the first president of Fuji Spinning Co.Ltd. constructed his private residence in Tokyo.
- 1924 Toyoji Wada passed away.
- 1925 Wada's residence was moved to the current place in Oyama town by will.
This residence has been called as HomonKaikan (Homon Hall) since this time.
- 2005 It was registered as a registered tangible cultural property in Japan

〈国登録有形文化財〉

和田君遺惠碑

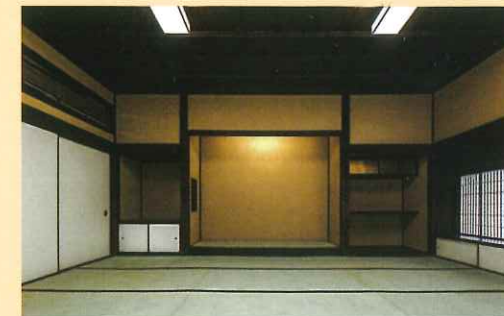
建設年：大正14年

高さ3メートルの花崗岩の石造物。角を丸めた1.5メートル四方の台座に、碑文を陰刻した円柱を載せ、さらにその上部に宝珠を頂く三層の屋根型を載せる。意匠は朝倉文夫、撰文は漢学者の桂五十郎、書は歴史学者の喜多貞吉、篆額は渋沢栄一。



和田坂

大正15年(1926)豊門グラウンド(現在の小山中学校グラウンド)とともに建設。富士紡初代社長の和田を顕彰し、第6代工場長の朝倉毎人が「和田坂」と命名した。



2階和室



2階和室



1階洋間



1階洋間